

令和6年度第3回

函館市廃棄物減量等推進審議会会議録

開催日時	令和7年1月8日(水) 14時00分～14時40分
開催場所	函館市役所8階第2会議室
議案	1 第4次函館市一般廃棄物処理基本計画に対する答申について [公開] 2 その他 [公開]
出席委員	青山森一委員, 柿崎陽子委員, 川口健治委員, 菅尚広委員, 平沢秀之委員, 松崎静江委員, 宮崎良一委員, 宮下勝弘委員 (計8名)
欠席委員	一戸裕之委員, 亀井佑樹委員, 川口勝也委員, 清藤千鶴子委員, 本間税委員, 宮越隆弘委員, 横向いず海委員 (計7名)
事務局 出席者 職・氏名	小林利行環境部長 田中修一環境部次長 畠山裕二環境推進課長 高田直樹埋立処分場長 浜口哲一環境推進課主査 高橋一也環境推進課主査 佐藤弘康環境推進課主査 廣島菜菜子環境推進課主査 野口智子環境推進課主事
他出席者	報道機関1名

高橋主査	<p>それでは、定刻になりましたので、もう1名委員が来る予定ではありませんでしたが、ただいまから、令和6年度第3回函館市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。</p> <p>本日は何かとご多忙の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の進行役を務めます環境部環境推進課の高橋と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入る前に、本日の審議会は委員15名中、現在のところ8名の出席がございますので、函館市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項の規定により、審議会として成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、本審議会の議事録につきましては、後日、市のホームページで公開いたしますので、ご了承願います。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をしたいと思います。先日、皆様に郵送しております、まず一つ目に「次第」、二つ目に資料1としまして、「第4次函館市一般廃棄物処理基本計画についての答申書（案）」、資料2としまして、「第4次函館市一般廃棄物処理基本計画に対する答申（案）一覧」、そのほか、前回第2回の審議会でお配りしました「第4次函館市一般廃棄物処理基本計画（素案）」とその際の「会議録」となっておりますが、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら、お申し出ください。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思いますが、規定により、会議の議長は会長が務めることとなっておりますので、平沢会長よろしく願いいたします。</p>
平沢会長	<p>本日は年初めのお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。会長の函館高専の平沢と申します。</p> <p>本日はどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、前回の審議会で「第4次函館市一般廃棄物処理基本計画」について諮問され、審議しました結果、たくさんの意見が出たため、本日は、「基本計画素案に対する答申について」の審議をいただくことにしました。</p> <p>前回、皆様からいただいたご意見を基に、配付した資料のとおり、私と事務局で答申案をまとめさせていただきましたので、これに対する審議を行いたいと思います。委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただければと思っております。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
畠山課長	「第4次函館市一般廃棄物処理基本計画に対する答申について」説明

平沢会長	<p>詳細なご説明ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま説明がありましたが、追加のご意見あるいは前回欠席された委員の皆様におかれましては、新たなご意見がございましたら、お願いします。いかがでしょうか。</p> <p>前回出された意見に関しましては、全て網羅していきまして、上手くまとまった形で、答申案として提案しているものと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
松崎委員	<p>以前から気になっていたことがございまして、今日の資料に載っておりますので、お聞きいたします。</p> <p>第2回会議録の部分で、古着の回収という言葉が出てきます。古着の回収についてプラス面マイナス面など、整理という言葉が正しいかどうかは分かりませんが、順調に古着の回収は良い方向性に向っているのでしょうか。それをお聞きしたいです。</p>
畠山課長	<p>古着の回収についてのご質問ですが、古着の回収につきましては、集団資源回収や市の拠点回収などで、リユースやリサイクルを促進するために行っておりまして、そういう回収をしない場合は、全て燃やせるごみの方に入ってしまうので、できるだけリユース・リサイクルをしていこうということで、取り組んでいるものです。</p> <p>コロナ禍の間は行き先もなくなり、集めるのが難しくなりましたが、コロナも明けて、回収量も多く集められるようになってきました。少しずつ増えているような傾向にありますので、良い方向に進んでいると考えています。</p>
松崎委員	<p>前に、市民会館の前の路上で、一般の皆さんが衣服など色々なものを出して、皆さんの協力をいただいて売り、その売り上げた金額は、100%売っている方々自身のものになる、または、ある程度、市の方に納めるということもちらっと聞いたことがあります。そのような手順というのはどうですか。</p>
畠山課長	<p>今おっしゃったことは、フリーマーケット的な部分だと思いますが、それぞれの主催者、そちらで手数料を取る場合もあるなど、色々なやり方があると思います。</p> <p>以前、エコフェスタの中で、そのようなフリーマーケットをやったことがあり、その時には、手数料などはいただかず、売り上げ金は全て売った方のものという形で、取り組んでいたことはあります。</p>
平沢会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>このほか、何かございますでしょうか。</p> <p>それでは無いようですので、この答申案についての審議はこれにて</p>

	<p>終了ということにさせていただきたいと思います。</p> <p>この基本計画に対する答申につきましては、本日いただいたご質問なども含めて、私と事務局の方で協議しまして、まとめさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
平沢会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、後ほど最終的に整理したものを審議会の意見として、市長あてに答申させていただきます。</p> <p>第4次函館市一般廃棄物処理基本計画素案の審議につきましては、本日で終了となりますが、計画が策定されても、着実に実行されなければ策定した意味がありません。当審議会では、引き続き、計画の進行管理に携わっていくこととなりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>委員の皆様のご協力をいただき、色々なご意見を答申に組み入れることができたと思います。これまで皆様の忌憚のないご意見、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局から今後の予定について説明をお願いします。</p>
畠山課長	<p>今後の予定ですが、答申(案)につきましては、会長とご相談しながら、文章整理等を行いまして、審議会として市長あてに答申書を提出したいと考えております。最終の答申書につきましては、後日、各委員の皆様に配付させていただきます。</p> <p>市では提出された答申に基づき、必要な修正をさせていただくなどの整理をした上で、修正したものを委員の皆様にお知らせしたいと考えております。</p> <p>その後、市の政策会議を経まして、基本計画の(案)として市議会に報告するほか、広く市民の皆様のご意見をいただくパブリックコメントを実施しまして、今年の3月までに成案化する予定でおります。</p> <p>今後の予定については、以上です。</p>
平沢会長	<p>ただいま、事務局から今後の予定について説明がありました。</p> <p>ご意見、ご質問などありますでしょうか。</p> <p>無いようですので、続きまして議題の(2)その他について、事務局から何かありますか。</p>
高田場長	<p>来年度から検討を進めていきたいと考えております「最終処分場などの整備を含めた新たなごみ処理システムの構築」につきまして、少しお話をさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。着座にて説明させていただきます。</p>

	<p>お手元の計画素案の44ページをお開き願いたいと思います。</p> <p>二つ目の◆になりますが、「新たな廃棄物処理施設の整備に向けた検討」とありまして、一つ目の○に、「新たなおみ処理システムの検討」とありまして、循環型社会の形成に向け、プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化の取組のほか、リサイクルの推進や最終処分量の削減を図る破砕選別施設の導入など、新たなおみ処理システムのあり方について、2025年度、来年度の令和7年度から基本構想の策定に着手するとしております。</p> <p>また、二つ目の○、「最終処分場」では、七五郎沢廃棄物最終処分場の埋立が2037年度、令和19年度頃まで可能と見込んでおりまして、施設規模などを含め、新たなおみ処理システムのあり方と併せて、検討するとしておりますほか、三つ目の○、「資源化施設」では、リサイクルセンターにおきまして、設備機器の老朽化が進んでいる状況となっており、当該施設についても、最終処分量の削減を図る破砕選別施設などの導入も含め、最終処分場と同様に、新たなおみ処理システムと併せて検討するとしております。</p> <p>こちらに記載しておりますとおり、最終処分場や資源化施設などの廃棄物処理施設の整備を含めた新たなおみ処理システムのあり方につきまして、来年度から検討委員会を設置しまして、これに着手したいと考えております。また、これら施設の建設候補地についても、選定に着手する予定としております。</p> <p>なお、この施設整備も含めた新たなおみ処理システムのあり方の検討を進めていくにあたりましては、本審議会のご意見をお聞きしながら進めてまいりたいと考えておりますので、その際はよろしく願いたします。以上です。</p>
平沢会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見などございませんでしょうか。</p>
青山委員	<p>新たな施設の関係については、函館市内で限定するのでしょうか。それとも、大きな範囲で、近隣市町村を巻き込んだ形になるのでしょうか。</p>
高田場長	<p>今のお話は広域化・集約化するのかわというお話だと思いますが、その辺につきましては、基本構想などの策定作業の中で、検討していく予定としています。</p>
平沢会長	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>

宮下委員	最終処分場が令和19年度頃まで使えるということで、現在、その近くに資源化施設があります。そういう意味から、処分場も再資源化施設も同時に新しく造って移ると、一緒に移動するという形になるのでしょうか。
高田場長	施設整備については、同時並行的に検討していくこととなりますが、一緒に同じ場所に行くのか、リサイクルセンターだけは今の場所のままになるのか、その辺りも今後検討していくこととなります。
宮下委員	ということは、処分場だけ別なところを探して、今の資源化施設は改築などを行い、今の場所に残る可能性もあるということですか。
高田場長	収集に係るコストなどもありますので、総合的に判断して、検討していくこととなります。
平沢会長	その他、いかがでしょうか。 それでは無いようですので、以上で、令和6年度第3回函館市廃棄物減量等推進審議会を終了したいと思います。 皆様のご協力により、スムーズに進行し、活発なご意見、ご質問を伺うことができました。本日は、どうもありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しいたします。
高橋主査	平沢会長、どうもありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、小林環境部長より一言ご挨拶を申し上げます。
小林部長	閉会にあたりまして、私の方から一言ご挨拶申し上げたいと思います。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 この度は、第4次函館市一般廃棄物処理基本計画の素案につきまして、様々な視点でのご審議をいただきましたこと、厚くお礼を申し上げます。 皆様には、日々のご多忙の中にもありながらも、会議にご出席をいただき、あるいはご自宅で資料をご覧いただくなど、貴重なお時間をいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。 お陰様をもちまして、基本計画の素案につきましては、答申をいただく運びとなりました。今後は、先ほど担当課長からご説明申し上げたとおり、年度内の成案化を目指しまして、諸手続きを進めてまいりたいと考えているところでございます。 審議会でのご審議は、本日をもって一区切りついた形ではございますが、策定した基本計画に基づく取組の進捗状況や目標値に対する達成状況などにつきまして、本審議会でご審議いただくこととなります

	<p>ので、引き続き、委員の皆様にはよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。</p> <p>また、重ねてのお願いではございますが、先ほど、議題の「その他」で「新たなごみ処理システム基本構想策定」についてご説明申し上げましたが、来年度から、部局内に新たなセクションを設けまして、次期埋立処分場などの整備を含めた新たなごみ処理システムの構築などを検討してまいりたいと考えているところでございます。その際につきましては、本審議会でご意見をいただく場面もあろうかと思ひますので、この件につきましても、重ねてお願いを申し上げる次第でございます。</p> <p>結びになりますが、この度の答申にあたりまして、ご審議いただきましたことに対し、厚くお礼を申し上げますとともに、今後の環境行政に対しまして、皆様のご協力をいただくことを心からお願ひ申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は、どうもありがとうございました。</p>
高橋主査	<p>以上で、本日の審議会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様、どうもありがとうございました。</p>